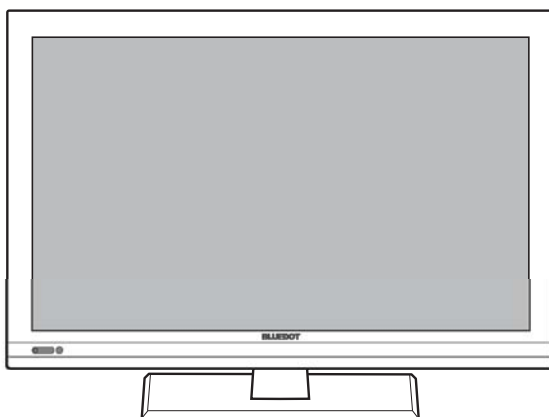
BLUEDOT®

19型パーソナル・デジタルテレビ
BTV-1910

取扱説明書

この取扱説明書、保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

本体と付属品

内容物をご確認ください。

- ●テレビ本体 1台
- ●リモコン 1個
- ●単4形乾電池(試供品) 2本
- ● AV ケーブル 1組
- ●アンテナケーブル(地デジ用) 1本
- ●B-CAS カード 1枚
- ●取扱説明書(本書) 1冊
- ●保証書.................................... 1枚

◆ 取扱説明書の内容、本機および付属品の外観、機能、仕様などは、改善のため将来予告なく変更することがあります。
◆ 取扱説明書の一部またはすべてを弊社に無断で転載/複製することは法律により禁止されています。

BLUEDOT株式会社

はじめに　安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	
	記号は、禁止される行為を表しています。
	記号は、行わなければならないことを表しています。

警　告

プラグを抜く

煙が出たり、変なにおいや音がしたりするなどの異常が見つかったら、すぐに電源プラグを抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですのでおやめください。

内部に水や異物を入れない。入ったときは、すぐに電源プラグを抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですのでおやめください。

指定以外の電源で使用しない。
火災・感電の原因となります。

電源コード、アンテナケーブルを破損しないようにする。
火災・感電の原因となります。

電源プラグの付着物は取る。
プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。火災・感電の原因となります。

電源プラグはきちんと差し込む。傷んだプラグは使わない。
差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となります。

分解、改造を行わない。
内部の部品に直接触れると、火災・感電・けがの原因となります。

雷が鳴り始めたら電源プラグやアンテナケーブルに触れない。
火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室、キッチンなど湿気や油煙の多いところで使用しない。
火災・感電・故障の原因となります。

異常に温度が高くなる場所や寒暖差の激しい場所に置かない。
火災・感電・故障の原因となります。

本機を落としたり大きな衝撃を与えたりしない。
電源プラグをコンセントから抜いた上で、弊社サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注　意

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない。
電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で触れない。
感電の原因となることがあります。

過度のたこ足配線をしない。
火災・感電の原因となることがあります。

背面の放熱口に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く。
詰まったまま使用すると、火災・故障の原因となります。

大きな衝撃をあたえない。
液晶画面が割れたり、本機が故障・破損する原因となります。

本機を布などで覆ったり、背面の放熱口を塞いだりしない。
本機の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります

移動するときは本機に接続されているすべての配線を取り外す。
けが・故障の原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池について安全上の注意

電池は乳幼児の手の届く場所に置かない。
電池は飲み込むと窒息や内臓への障害の原因となることがあります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電したりしない。
破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

指定以外の電池を使わない。
破裂・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

新しい電池と使用済みの電池を混ぜて使わない。
破裂・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

使い切った電池はすぐにリモコンから取り出す。
そのままリモコンの中に放置すると破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。
液が目の中に入ったときや体や衣服についたときは直ちに水道水などのきれいな水で洗い、すぐ医師にご相談ください。

ご使用に関する注意

お手入れ
お手入れにはベンジンなどの化学薬品を使わないでください。表面が変質する原因となります。汚れが付いた場合は柔らかい布で拭いてください。油汚れの場合は、薄めた中性洗剤にやわらかい布を浸して固く絞り、軽く拭いてください。

結露について
寒い場所から温かい場所へ急に移動し急激な温度変化を与えたり、本機を湿気の多い場所に置いたりすると、湿気が本体の表面や内部に結露することがあります。このまま電源を入れると故障の原因となりますので、本機の電源を入れずに放置し、結露を蒸発させてからご使用ください。

視聴時の注意
暗い場所で視聴したり、長時間にわたって画面を見続けたりすると、目の疲れや視力低下につながることがあります。暗所での視聴や長時間の視聴は避け、身体に不快感や痛みを覚えたときは視聴をやめて休息を取ってください。また、視聴時はスピーカーやヘッドホンの音量を上げすぎないよう注意してください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

仕様上の注意
- ◆ 液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ◆ バックライトには寿命があります。非常に暗い、点灯しないなど、著しい異常が認められた場合は修理をおすすめいたします。なお、バックライトは消耗品のため、劣化による修理は保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。
- ◆ 本機を他のテレビやラジオなどの電気機器に隣接して設置した場合、映像や音声に雑音が入るなど、互いの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。できるだけ両者を遠ざけるなどの対策を講じてください。

補償について
何らかの不具合 / 故障などによって生じた、データやその他の損失、および直接的・間接的な損害について、弊社では一切の責任を負うことができません。本機を修理に出されたときも同様です。あらかじめご了承ください。

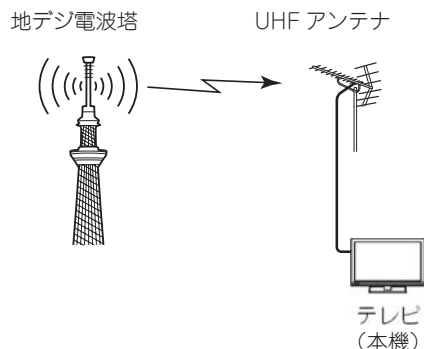
保証修理 / 交換
保証期間内であっても、本書や取扱説明書、保証書、背面印刷などに記載されている注意事項に沿わない使い方をされたことが原因で故障や破損などが起きた場合、弊社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。

本機を廃棄する場合は、家電リサイクル法に従ってください。

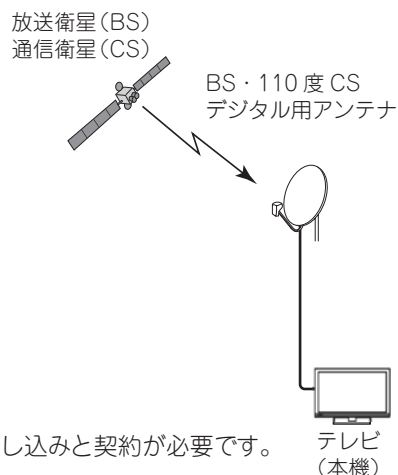
もくじ

デジタル放送について

地上デジタルとは

地上デジタルテレビ放送の略称です。2011年7月24日をもって、従来の地上アナログテレビ放送は終了し、地上テレビ放送は地上デジタルテレビ放送に移行しました。地上デジタル放送は従来のアナログ放送に比べて、クリアなハイビジョン映像を実現するだけでなく、電子番組表の表示や複数字幕・複数音声の切り換え、データ放送による番組連動情報の提供といった新しいサービスも提供しています。

BS デジタル /CS デジタルとは

BS デジタル放送とは、放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行うデジタル放送です。地上デジタル放送と同様に高精細なハイビジョン映像で番組をお楽しみいただけます。電子番組表やデータ放送などデジタル特有のサービスもご利用いただけます。一部は有料チャンネルで、加入すると視聴することができます。

CS デジタル放送は110度CS デジタル放送とも呼ばれる通信衛星（Communications Satellite）を使って行うデジタル放送です。
ニュースや映画、音楽、スポーツ、趣味など多数の専門チャンネルがあり、有料放送がほとんどです。

BS/CS 放送の有料放送を申し込む

NHKやWOWOWなど一部のBSデジタル放送は有料放送となり加入申し込みと契約が必要です。
詳しくは各放送事業者のホームページなどをご確認ください。

CS デジタル放送は放送事業者「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。

ホームページ　http://www.e2sptv.jp/

データ放送とは

お住まいの地域の天気予報といった生活情報や、ニュース、番組の連動情報といった付加情報を楽しむことができます。
データ放送では多くの場合、天気予報やニュースなどがいつでも見られるようになっています。
リモコンの「**d**データ」ボタンを押すごとに表示 / 非表示を切り換えることができます。

アナログ放送について

アナログ放送は基本的には、2011年7月に放送を終了していますが、一部地域で例外的に2012年3月末まで放送を継続しています。放送が終了した地域では基本的にアナログ放送を視聴できません。

各部の名称

本体

（左側面）

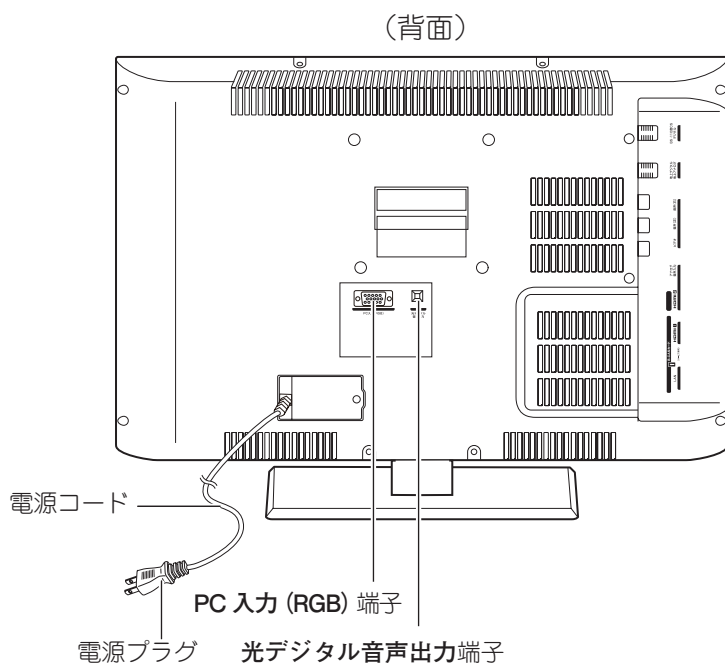
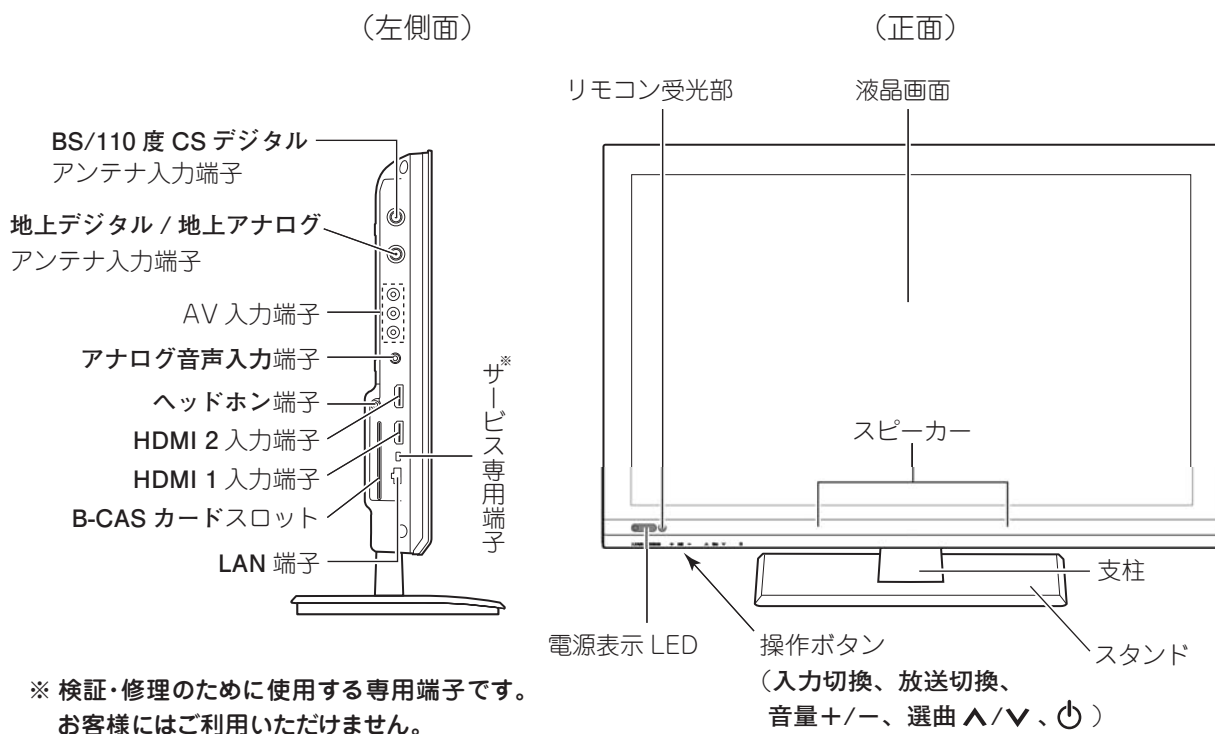
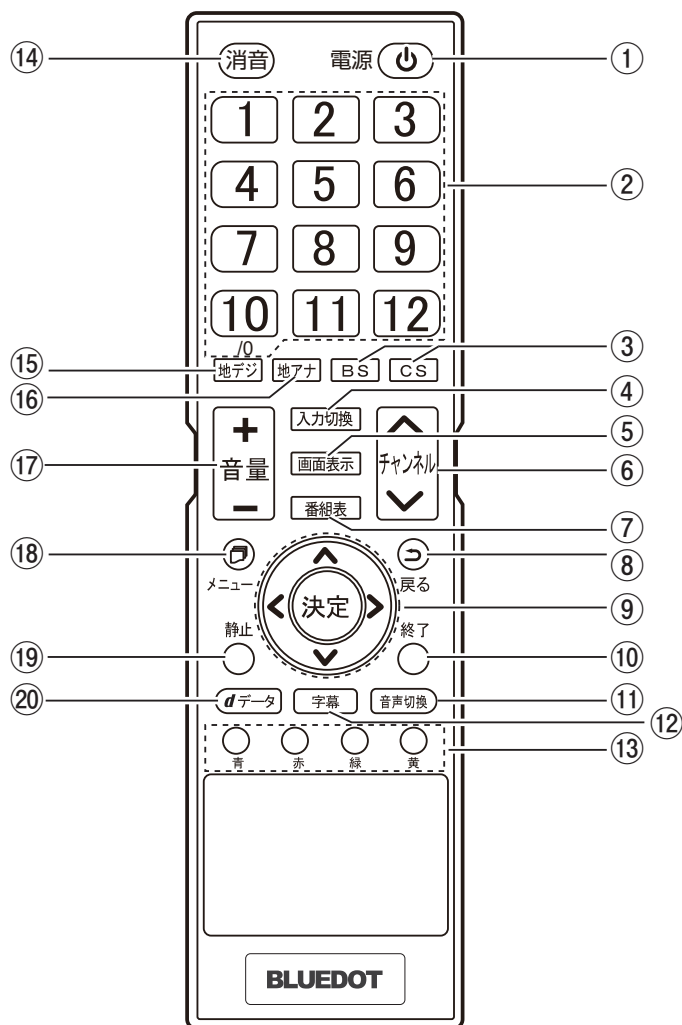
BS/110 度 CS デジタル アンテナ入力端子
地上デジタル / 地上アナログ アンテナ入力端子
AV 入力端子
アナログ音声入力端子
ヘッドホン端子
HDMI 2 入力端子
HDMI 1 入力端子
B-CAS カードスロット
LAN 端子
サービス専用端子※

※ 検証・修理のために使用する専用端子です。
お客様にはご利用いただけません。

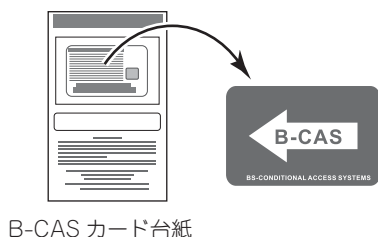
（正面）

リモコン受光部
液晶画面
スピーカー
支柱
電源表示 LED
操作ボタン
（入力切換、放送切換、
音量＋/－、選曲 ∧/∨ 、⏻ ）
スタンド

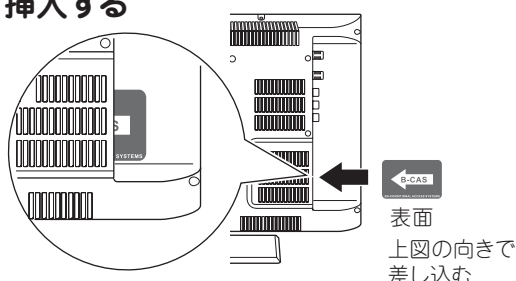
（背面）

各部の名称(続き)

リモコン

①電源ボタン
②チャンネル番号ボタン(数字ボタン)
③**BS**/**CS**ボタン
④**入力切換**ボタン
⑤**画面表示**ボタン
⑥**チャンネル**(選局)ボタン
⑦**番組表**ボタン
⑧**戻る**ボタン
⑨十字方向ボタン/**決定**ボタン
⑩**終了**ボタン
⑪**音声切換**ボタン
⑫**字幕**ボタン
⑬**青**/**赤**/**緑**/**黄**(カラー)ボタン
⑭**消音**ボタン
⑮**地デジ**ボタン
⑯**地アナ**ボタン
⑰**音量**(**+**/**−**)ボタン
⑱**メニュー**ボタン
⑲**静止**ボタン
⑳***d*データ**(データ放送)ボタン

B-CASカードを挿入する

1 B-CASカードの台紙の内容を一読し、同意の上でB-CASカードを外す

B-CAS カード台紙

2 B-CASカードを正しい向きで確実に挿入する

表面
上図の向きで差し込む

注意

- B-CASカードの金属端子には触れないでください。
- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷つけたり、濡らしたりしないでください。
- B-CASカードを分解したり、加工したりしないでください。
- B-CASカード以外のものを本機に挿入しないでください。
- B-CASカードをスムーズに挿入できないときは無理矢理押し込まず、ゆっくりと入れ直してください。
- 本機を使用中にB-CASカードを抜き差ししないでください。
- B-CASカードを抜く場合は、テレビの電源をオフにしてからコンセントを抜き、ゆっくり引き抜いてください。
- 他人がお客様のB-CASカードを使用して有料放送を視聴した場合、お客様の口座に視聴料金が請求されます。保管には十分ご注意ください。

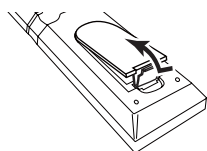
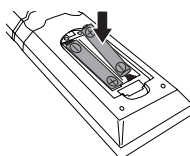
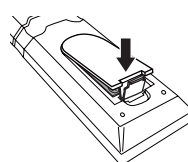
破損・紛失などによりB-CASカードの再発行が必要な場合は…

詳しくは、B-CASカードの台紙に記載のある「B-CASカスタマーセンター」にご連絡ください。なお、再発行に当たっては別途料金が必要になります。
B-CASカスタマーセンター：0570-000-250
（ナビダイヤルをご利用になれない場合は：045-680-2868）

※その他、B-CASカードに関するお問い合わせはB-CASカスタマーセンターにご連絡ください。

リモコンの準備

電池を入れる

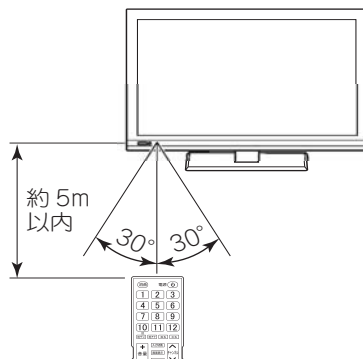
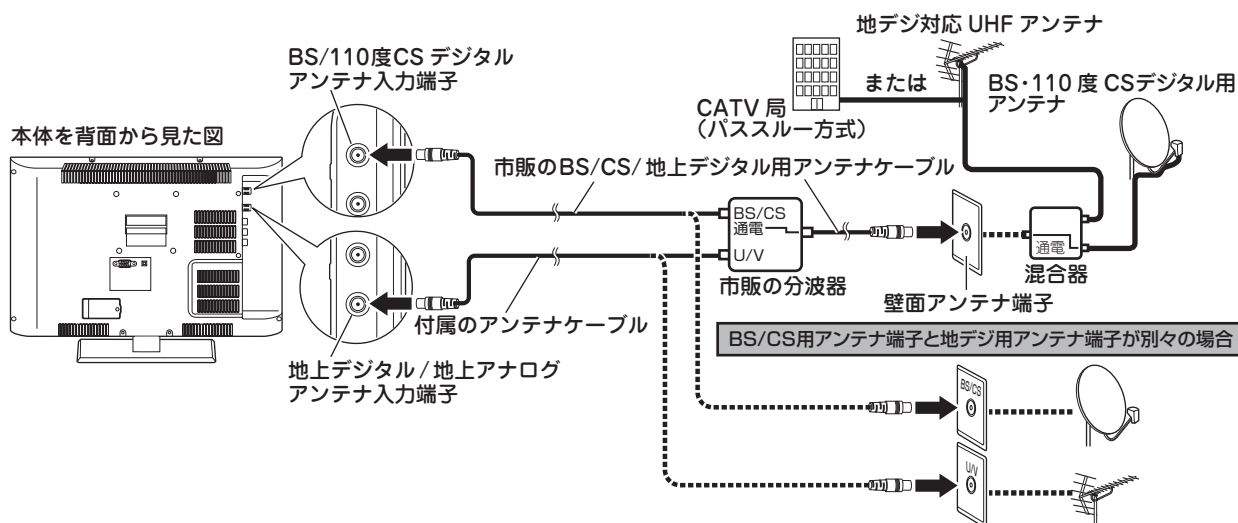
工場出荷時にはリモコンに電池が入っていません。以下の手順で付属の乾電池を入れてください。
電池を交換するときも、同様の手順で行ってください。

1. 電池カバーを外します
2. 極性(＋/－)に注意して電池を入れます
3. 電池カバーを元に戻します

矢印の方向へ押して開きます。

電池は**単4形電池**をご使用ください。

リモコンの操作範囲

◆ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて、図の範囲で操作してください。
◆ ボタンを押しても動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。
◆ リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外しておいてください。

注意 リモコン受光部に直射日光が当たったり、インバーター式の蛍光灯の近くで使用すると誤動作をすることがあります。この場合は位置を変えてください。

アンテナを接続する

アンテナケーブルを使って本体のアンテナ入力端子と壁面のアンテナ端子を接続する。

・ 壁面アンテナ端子が1つの場合（地上デジタルとBS/CSデジタルの信号が混合されている場合）、地上デジタルの信号とBS/CSデジタルの信号を分けるために別途分波器が必要です。分波器の出力端子は、通電（BS/CSデジタル用）端子を本機のBS/CSデジタルアンテナ入力端子に、地上デジタル用を本機の地上デジタル / 地上アナログアンテナ入力端子に接続してください。
・ 壁面のアンテナ端子が地上デジタル用とBS/CSデジタル用に分かれている場合はそれぞれ対応する本機のアンテナ入力端子に接続します。
・ マンションでの接続や、レコーダーなど他のBS/CSデジタル対応機器を経由しての接続では、本機のアンテナ電源設定を「メニュー」⇨「設定」⇨「初期設定」⇨「BS・110度CSアンテナ電源供給」⇨「供給しない」に設定してください（20ページ参照、工場出荷設定は「供給しない」になっています）。逆にBS・110度CSデジタル用のアンテナを本機に直接接続する場合は「供給する」に設定してください。外部機器やアンテナの仕様、接続環境によって異なることがあります。販売店やアンテナ設置業者にご相談ください。
・ 本機には地上デジタル用のアンテナケーブルが1本付属しています。分波器のU/V（UHF/VHF）出力端子側と本機の地上デジタル / 地上アナログアンテナ入力端子との接続や、壁面アンテナ端子の地上デジタル側と本機の地上デジタル / 地上アナログアンテナ入力端子を直接接続するときにご利用いただけます。

! 注意

・ 地上デジタル放送を受信するためには、ご自宅の建物に地上デジタル放送を受信可能なUHFアンテナが設置されているか、ケーブルテレビ局が「CATVパススルー方式」で地上デジタル放送を再送信していることが必要です。
・ BS/CSデジタル放送を受信するためには、ご自宅の建物にBS/CSデジタル放送を受信可能なBS/CSアンテナが設置されているか、ケーブルテレビ局が「CATVパススルー方式」でBS/CSデジタル放送を再送信していることが必要です。
・ 1つのアンテナ端子に複数のテレビを接続する場合は、BS/CS/ 地上デジタルに対応した市販の分配器をご利用ください。
・ 市販のアンテナケーブルを購入される場合は、太く短いものをおすすめします。ケーブルが長くなるほど信号が弱まります。
・ 次の場所や地域では地上デジタル放送を受信できない可能性があります。
　(1) 電波塔から遠い場所、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所、室内アンテナでの受信など電波が弱いまたは不安定または届かない場合。
　(2) 妨害波や電磁雑音が多い場合。
　(3) 地上デジタル放送が届かない地域（難視聴地域）。
・ 地上デジタル放送の知識や視聴できる地域に関する情報は「社団法人 デジタル放送推進協会（Dpa）」までお問い合わせください。
　Dpaホームページ ： http://www.dpa.or.jp/
　総務省 地デジコールセンター： 0570-07-0101（ナビダイヤルをご利用になれない場合は:03-4334-1111）
・ 地上アナログ放送が終了するまでに地上デジタル放送を送り届けられない地域（難視聴地域）では暫定的にBSデジタル放送を使って地上デジタル放送を視聴することができます。
　詳しくはDpaまでお問い合わせください。
　地デジ難視聴対策衛星放送受付センター ： 0570-08-2200（ナビダイヤルをご利用になれない場合は ： 045-345-0522）
・ 電波が弱い場所では増幅器（ブースター）を利用すると改善する場合があります。放送局の近くなど、電波が強すぎる場合は減衰器（アッテネーター）をご利用ください。

外部機器の接続

赤
白
黄
音声(右)
音声(左)
ビデオ

ヘッドホンを接続すると本体
スピーカーの音は消えます。

VGA ケーブル

保護キャップを
取り外してください。

オーディオビデオケーブル

オーディオ用光デジタル
ケーブル

HDMI ケーブル

パソコンなど

VHS

光デジタル音声入力付き
AV アンプなど

HDMI 端子付き外部機器
（ブルーレイレコーダーなど）

HDMI 対応機器をもう 1 台接続
するときは [HDMI2] に接続できます。

ビデオ出力付き外部機器

※ 外部機器と接続するときは、本機と接続する機器の電源を切って、電源プラグを抜いてから行ってください。
※ 外部機器の端子の規格に合わせて本機と接続します。接続する前に外部機器の取扱説明書をよくお読みください。
※ 出力される映像はHDMI端子、ビデオ端子（黄色）の順に高画質です。
※ HDMI2入力の音声をアナログで入力するときは、市販のオーディオケーブル（3.5mm ミニプラグ）を「アナログ音声入力」端子に接続した上で本機の「HDMI2音声入力設定」を「アナログ」に変更してください。
（「メニュー」⇨「設定」⇨「機能設定」⇨「外部入力設定」⇨「HDMI2音声入力設定」⇨「アナログ」の順に操作します。19ページ参照）

パソコンなど

入力を切り換える（外部入力の映像を表示する）

本機に接続した外部機器に入力を切り換えます。

「**入力切換**」ボタンを押します。

① **入力切換ボタンまたは「∧ ∨」ボタンで入力を選択します。**

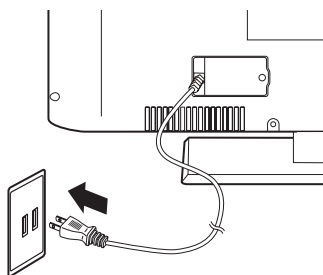
② **「決定」ボタンを押します。**

※ 「決定」ボタンを押さなかった場合は、約３秒ほどで入力が切り替わります。

接続していない機器をスキップするように設定することができます。（20 ページ参照）
（「**メニュー**」⇨「**設定**」⇨「**機能設定**」⇨「**外部入力設定**」⇨「**外部入力スキップ設定**」⇨各入力の設定の順に操作します。）

本機を設置する

スタンドはあらかじめ本体に取り付けてあります。
しっかりした水平の台に設置してください。

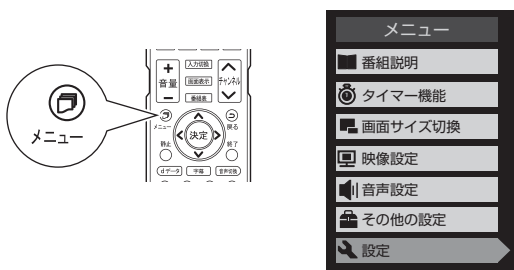
電源を接続する

全ての接続が終了してからコンセントに電源プラグを差し込みます。

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

1 電源ボタンを押す

テレビが起動するまで、しばらくお待ちください。

> ご購入後初めて電源を入れた場合は手順 5 の「初めての設定」画面が表示されます。手順 5 から操作を始めてください。
> チャンネルを設定しなおすときは、次の手順 2 から操作してください。

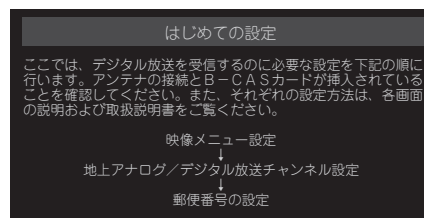
2 「メニュー」ボタンを押し、「∧ ∨」ボタンで［設定］を選び「決定」ボタンを押す

3 「∧ ∨」ボタンを押し、［設定］の［初期設定］を選び「決定」ボタンを押す

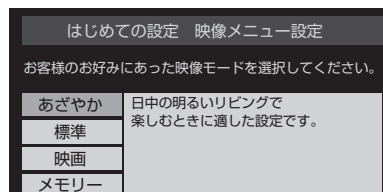
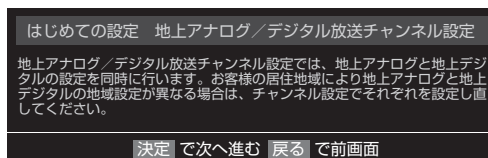
設定	
お知らせ	→
機能設定	→
CEC 設定	→
初期設定	→

⬆⬇ で項目選択 決定 で設定変更

4 ［初期設定］の［はじめての設定］を選び「決定」ボタンを押す

右上に続く

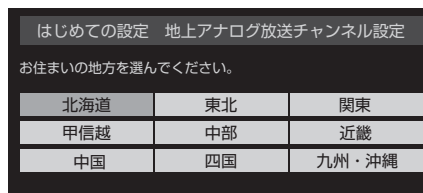
5 ［はじめての設定］の案内を読み「決定」ボタンを押す

6 ［映像メニュー設定］にて「∧ ∨」ボタンでお好みの映像モードを選び「決定」ボタンを押す

画面右側に各モードの解説が表示されます。

7 ［地上アナログ/デジタル放送チャンネル設定］の案内を読み「決定」ボタンを押す

8 「∧ ∨ ＜ ＞」ボタンでお住まいの場所を選び「決定」ボタンを押す

地方、都道府県、地域を順に選びます。

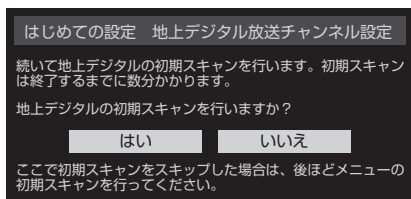
はじめての設定　地上アナログ放送チャンネル設定

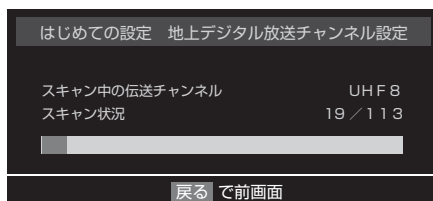
お住まいの地方を選んでください。

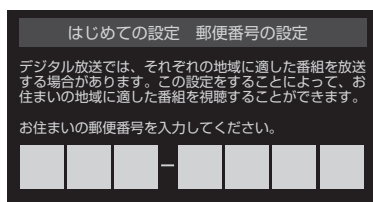
北海道	東北	関東
甲信越	中部	近畿
中国	四国	九州・沖縄

> 地上アナログ放送のチャンネルリストが表示されますので、そのまま「決定」ボタンを押して次へ進みます。

次ページに続きます。

地上デジタル放送のチャンネルを設定する(続き)

9 「地上デジタル放送チャンネル設定」にてチャンネルスキャンを行うために「はい」を選んで「決定」ボタンを押す

10 スキャンが始まります

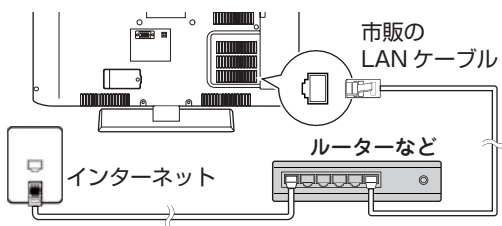
終了するまでしばらくお待ちください。

11 内容確認の案内が出たら「決定」ボタンを押して「はい」を選び受信したチャンネルを確認し、再び「決定」ボタンを押す

12 郵便番号を数字ボタンで入力し「決定」ボタンを押す

13 設定内容を確認し「決定」ボタンを押す

14 「地デジ」「BS」「CS」ボタンで放送の種類を選ぶ

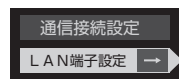
これでチャンネル設定は終了です。

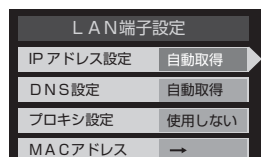
LAN接続をする場合

有線LANでインターネットに接続しておくと、データ放送にインターネットから情報を取得するコンテンツが含まれている場合、それらを表示することができます。インターネットに接続されているルーターと本機の「LAN」端子をLANケーブルでつなげば接続は完了です。
一般的なルーターでは、接続するだけで設定が完了します。

＜手動設定する場合＞

1 「電源」を入れ「メニュー」ボタンを押す

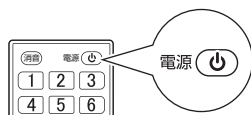
2 ［設定］メニューから［LAN端子設定］を選ぶ

［設定］⇨［初期設定］⇨［通信設定］⇨［通信接続設定］⇨［LAN端子設定］の順に選びます。

3 設定する項目を選び、「決定」ボタンを押す

「∧∨＜＞」ボタンや数字ボタンを使ってそれぞれの項目を設定します。

設定項目

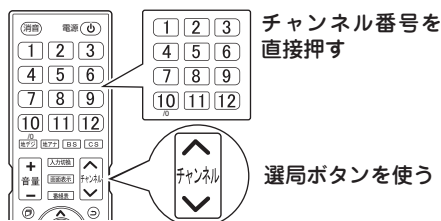
IPアドレス設定	インターネットに接続する場合、本機に割り当てられる固有の番号です。 通常は「自動取得」を選びます。
DNS設定	DNSサーバーを設定します。 通常は「自動取得」を選びます。 IPアドレスを自動取得しない場合はDNSアドレスも手動設定してください。
プロキシ設定	ご契約のプロバイダーから指定のある場合のみ設定してください。
MACアドレス	それぞれの機器を識別するために割り当てられている番号を表示します。

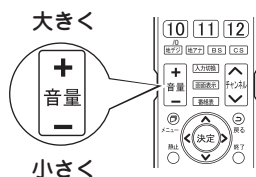
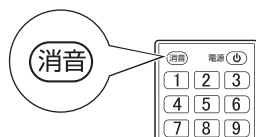
テレビを見る

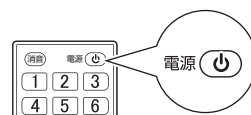
1 電源を入れる

※ テレビが起動するまで、しばらくお待ちください。
※「メニュー」ボタンを押し、[設定]⇨[機能設定]⇨[省エネ設定]⇨[クイックスタート]からクイックスタートを[動作する]に設定すると起動時間を短縮できます。待機電力は増加します。

2 放送を選ぶ

①「地デジ」「BS」「CS」ボタンで放送の種類を選びます。

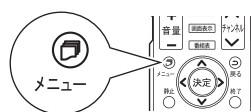
②「チャンネル」ボタンまたは数字ボタンで放送局を選びます。

※ チャンネルが割り当てられていない番号を押しても「チャンネルが設定されていません」と表示され、チャンネルは変わりません。

3 音量を合わせる

音を一時的に消す場合は「消音」ボタンを押します。
もう一度「消音」ボタンを押すと元の音量に戻ります。

4 電源を切る

電源ボタンを押す。

難視対策衛星放送を見るには

難視対策衛星放送とは、地上アナログ放送が終了しても地上デジタル放送を見ることができない一部の地域において、テレビ放送を視聴できるように、暫定的に放送衛星(BS)から地上デジタル放送の番組を放送しているものです。

- 指定された地域の方のみ受信できます。
- BSデジタル放送の受信ができる必要があります。
- お申し込みが必要です。

1 「メニュー」ボタンを押し[設定]⇨[初期設定]⇨[チャンネル設定]⇨[地デジ難視衛星放送]の順に選ぶ

2 「∧ ∨」ボタンで[利用する]を選び「決定」ボタンを押す

BSデジタル放送にて地上デジタルの放送局を選択します。

お問い合わせ先：
地デジ難視対策衛星放送受付センター
電話：0570-08-2200（ナビダイヤル）
045-345-0522
受付時間：9時から18時まで（年中無休）

降雨対応放送について

衛星放送受信中に雨や雪などの影響で次のような表示が出た場合は降雨対応放送に切り換えてください。
（放送局で降雨対応放送をしていない場合もあります。）

> 電波の受信状態が良くありません。
> メニューから降雨対応放送に切り換えられます。
>
> コード:E201

<操作方法>

①「メニュー」ボタンを押します。
②「∧ ∨」ボタンで「その他の設定」を選び「決定」ボタンを押します。
③「∧ ∨」ボタンで「信号切換」を選び「決定」ボタンを押します。
④「∧ ∨」ボタンで「降雨対応放送切換」を選び「決定」ボタンを押します。
⑤「∧ ∨」ボタンで「降雨対応放送」を選びます。

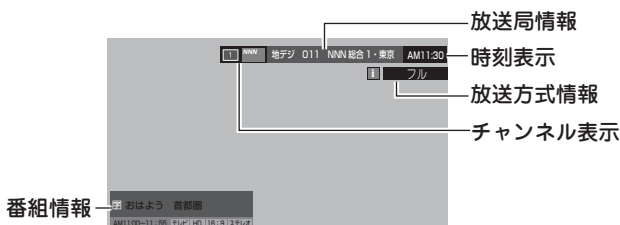
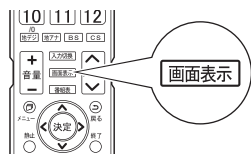
通常放送に切り換えるときは、「通常の放送」を選びます。

便利な機能

リモコンのボタンを使ってワンタッチで番組表を表示させたり、字幕・音声を切り換えたり、各種機能を呼び出したりすることができます。

画面のチャンネル情報を表示する

視聴中の放送局名、番組名などを表示します。

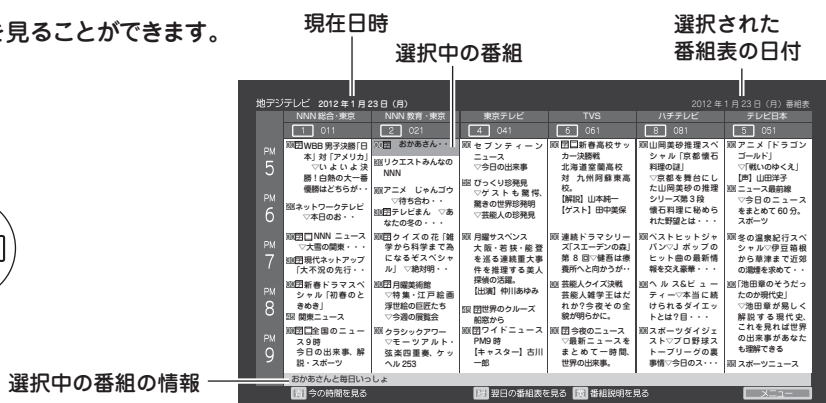
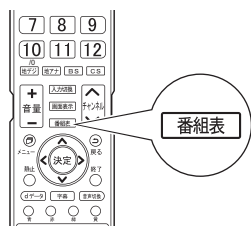
「画面表示」ボタンを押します。

ボタンを押してしばらくすると右上の表示のみ残ります。
もう一度「**画面表示**」ボタンを押すと表示を消すことができます。

番組表を見る

デジタル放送の電子番組表を見ることができます。

「番組表」ボタンを押します。

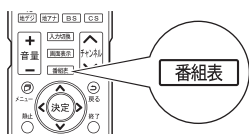
現在日時

選択中の番組の情報

6チャンネル分の番組表が表示されます。「＜ ＞」ボタンで他のチャンネルに移動できます。

- 翌日の番組表を見る時は「**緑**」ボタンを押します。
- 番組説明を見るには「**黄**」ボタンを押します。
- 番組表を消すときは：
  「**戻る**」、「**終了**」、「**番組表**」ボタンのいずれかを押します。

番組表から視聴予約を行う

電子番組表から見たい番組を選択して視聴予約をすることができます。他のチャンネルを見ているときでも、予約時間になると予約したチャンネルに切り換わります。

①「**番組表**」ボタンを押します。

②「∧ ∨ ＜ ＞」ボタンで予約したい番組を選び、「**決定**」ボタンを押します。

③「**視聴予約をする**」を選択し「**決定**」ボタンを押します。

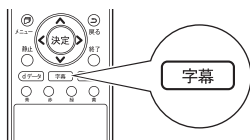
※予約した番組に赤いマークが付きます。

視聴予約を取り消すときは ⇨ ①番組表から予約した番組を選び、「決定ボタン」を押す。
②「視聴予約を取消」を選んで「決定」ボタンを押す。

! 注意 **電源をオフにすると予約は自動的に取り消されます。電源がオフの状態からテレビを立ち上げる場合は、16ページの「オンタイマー」をご活用ください。**

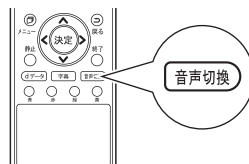
字幕を表示する

字幕の表示/非表示を切り換えることができます。
字幕放送をしていない番組で字幕は表示できません。
「テロップ」を消すことはできません。

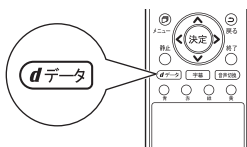
①「**字幕**」ボタンを押します。

②「**∧ ∨**」ボタンで「字幕オフ」または「字幕オン」を選択し「**決定**」ボタンを押します。

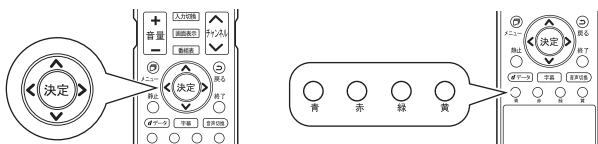
音声を切り換える

複数の音声で放送している場合、音声を切り換えることができます。
音声多重放送をしていない場合は切り換えられません。

「**音声切換**」ボタンを押します。
押すごとに音声が切り換わります。

データ放送を見る

デジタル放送に連動して放送局から送られてくるデータ放送を見ることができます。
LAN接続をしていると（12ページ参照）、放送によってはインターネット回線を使ったニュースを表示できたり、番組のアンケートに参加できたり、ゲームを楽しむことができたりします。

番組視聴中に「***d*データ**」ボタンを押します。

※ もう一度押すと視聴画面に戻ります。

データ放送の項目を選ぶときは、画面の案内にしたがって「**∧ ∨ < >**」ボタンで選択して「**決定**」ボタンを押したり、青/赤/緑/黄のカラーボタンを押したりしてください。

※ 操作方法は放送によって異なります。画面の案内に従ってください。

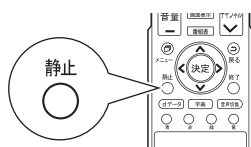
画面を一時的に静止する

画面を一時的に静止して表示し続けることができます。

「**静止**」ボタンを押します。

静止中

※ もう一度押すと視聴画面に戻ります。

便利な機能（続き）

「メニュー」ボタンを使っていろいろな機能を操作します。
「メニュー」ボタンを押したあと、「∧ ∨」ボタンで項目を選択し、「決定」ボタンで確定します。

番組の説明を表示する

番組内容の説明を表示します。
番組によっては表示に時間がかかる場合や、表示されない場合があります。

① 視聴中に「**メニュー**」ボタンを押します。
② 「**∧ ∨**」ボタンで「番組説明」を選び「**決定**」ボタンを押します。

番組の説明が表示されます。

※「終了」ボタンを押すと視聴画面に戻ります。

オンタイマーを使う

設定した時刻に本機の電源をオンにして、ご希望のチャンネルを視聴することができます。
デジタル放送を受信していない場合や、時刻情報を取得できない場合は使用できません。

① 「**メニュー**」ボタンを押します。
② 「**∧ ∨**」ボタンで「タイマー機能」を選び「**決定**」ボタンを押します。
③ 「**∧ ∨**」ボタンで「オンタイマー」を選び「**決定**」ボタンを押します。
④ 「**∧ ∨**」ボタンで「オンタイマー機能」選び「**決定**」ボタンを押し、続いて「入」を選び「**決定**」ボタンを押します。
⑤ 「**∧ ∨**」ボタンで「日時」を選び「**決定**」ボタンを押し、「**∧ ∨ ＜ ＞**」ボタンでそれぞれ曜日の設定、時刻の設定をします。設定が終わったら「**決定**」ボタンを押します。
⑥ 同様にして「チャンネル」および「音量」の設定をします。
⑦ 「**電源**」ボタンで電源をオフにします。

※ オンタイマーを解除したい場合には手順④で「切」を選びます。

! 注意　音量を上げすぎないようにご注意ください。

オフタイマーを使う

設定した分数後に本機の電源をオフにすることができます。おやすみタイマーとしてご利用いただけます。

① 「**メニュー**」ボタンを押します。
② 「**∧ ∨**」ボタンで「タイマー機能」を選び「**決定**」ボタンを押します。
③ 「**∧ ∨**」ボタンで「オフタイマー」を選び「**決定**」ボタンを押します。
④ 「**∧ ∨**」ボタンで設定するオフまでの分数を選び、「**決定**」ボタンを押します。

※ 電源が切れる１分前になると画面にお知らせが表示されます。
※「メニュー」⇨「タイマー機能」を選ぶと残り時間が表示されます。
※ オフタイマーを解除する場合は手順④で「切」を選びます。

画面サイズを変更する

視聴している番組の画面サイズを変更することができます。

① 「**メニュー**」ボタンを押します。
② 「**∧ ∨**」ボタンで「画面サイズ切換」を選び「**決定**」ボタンを押します。
③ 「**∧ ∨**」ボタンでお好みの画面サイズを選び、「**決定**」ボタンを押します。

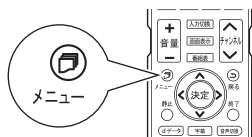
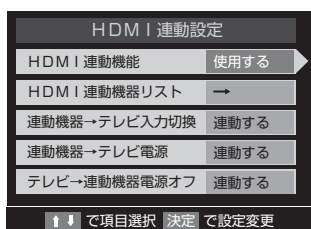
※デジタル放送の場合、通常は「フル」に設定します。

デジタル放送の場合
ワイド：画面を左右に拡大伸張して表示します。
ズーム：画面全体を拡大して表示します。
フル　：16：9 の映像をそのまま表示します。

アナログ放送の場合は
ワイド、ズーム、映画字幕（画面の下部に黒い帯が入ります。）、フル（4:3の映像の場合、横いっぱいに拡大されます。）、ノーマル（4:3の映像の場合、そのまま）から選択できます。

HDMI連動機能を使う

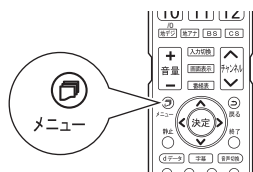
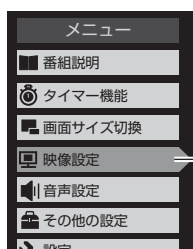
HDMIケーブルで接続された外部機器と連動して、自動的に外部機器の電源をオフにしたり、外部機器に連動して本機の電源をオンにしたりすることができます。
「HDMI CEC」と呼ぶHDMI連動機能（リンク機能）に外部機器が対応している必要があります。連動できる機器は1台までです。

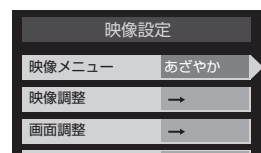
1 「メニュー」ボタンを押し［設定］⇨［CEC設定］⇨［HDMI連動設定］の順に選ぶ

2 設定する項目を「∧ ∨」ボタンで選び「決定」ボタンを押す

3 それぞれに項目について「∧ ∨」ボタンで選び「決定」ボタンを押す

設定項目	説明
HDMI連動	HDMIの各種連動制御を使用するかどうかを設定します。 ［選択項目］：使用する、使用しない
HDMI連動機器リスト	連動する機器を選択します。選択できる機器は1台までです。 「赤」ボタンを押すとHDMIの接続を再検出します。
連動機器→テレビ入力切換	連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をします。 ［選択項目］：連動する、連動しない
連動機器→テレビ電源	連動機器の電源が入ったときに、本機も自動的に電源が入ります。 ［選択項目］：連動する、連動しない
テレビ→連動機器電源オフ	本機の電源を切ったときに、連動機器も自動的に電源が切れます。 ［選択項目］：連動する、連動しない

4 「終了」ボタンを押す

上記で「連動する」を選んだ動作が有効になります。

! 注意 **各社のHDMI連動機能（リンク機能）には独自機能や独自仕様が含まれています。機器によっては連動できなかったり、一部の機能が使えなかったりすることがあります。**

各種の設定を行う

操作

メニューの設定項目

※「番組説明」、「タイマー機能」、「画面サイズ切換」は16ページの「便利な機能」を参照してください。

メインメニュー	設定項目	説明
映像設定	映像メニュー	あらかじめシーンに合わせてた映像設定が用意してあります。 [選択項目]:あざやか、標準、映画、メモリー（ユーザー設定）
	映像調整	**コントラスト**:画面のコントラストを調整します。 **黒レベル**:画面の明るさを調整します。 **色の濃さ**:画面の濃淡を調整します。 **色あい**:画面の色合いを調整します。 **シャープネス**:画面のシャープネスを調整します。 **バックライト**:バックライトの明るさを調整します。 **色温度**:画面全体の色調を標準、暖色または寒色に切り換えます。
	画面調整	**スキャン切換** ジャストスキャン(画面全体を表示する設定)、オーバースキャン(画面の端を切って拡大表示する設定)が切り換えられます。画面サイズ切換がフル、ノーマル以外の場合、上下左右振幅、上下画面位置を調整できます。
	ノイズリダクション	画面のノイズやざらつきを低減したいときに選択します。
音声設定	音声調整	**バランス**:左右の音量バランスを調整します。
		高音:高音のレベルを調整します。 [設定項目]:−50（高音減少）〜+50（高音増加）の範囲で調整できます。 **低音**:低音のレベルを調整します。 [設定項目]:−50（低音減少）〜+50（低音増加）の範囲で調整できます。 **高音強調**:高音を強調します。 [選択項目]:オン、オフ **低音強調**:低音を強調します。 [選択項目]:強、弱、オフ **サラウンド**:音の広がりをより広くしたいときに「オン」にします。 [選択項目]:オン、オフ
	光デジタル音声出力	光デジタル音声出力のフォーマットを設定します。 [選択項目]PCM、デジタルスルー、サラウンド優先
その他設定	信号切換	**映像信号切換**、**音声信号切換**、**音多切換**、**データ信号切換**、**字幕切換**、**降雨対応放送切換**を設定できます。設定可能な項目だけが有効になります。
	チャンネル番号入力	チャンネル番号(3ケタ)を入力します。
	HDMI入力拡張切換	HDMI端子に接続されている機器をリスト表示します。
	データ放送終了	データー放送の受信を終了します。
	アンテナレベル	受信中のチャンネルのアンテナレベルを表示します。
	テレビ/ラジオ/データ切換	テレビ放送とラジオ放送/独立データ放送の切換をします。放送していないこともあります。

設定	お知らせ	**放送局からのお知らせ／本機に関するお知らせ／ボード** 放送局や本機からのメッセージを表示することができます。
	機能設定	**省エネ設定** **消費電力** バックライトの輝度を下げて消費電力を低減します。 [**選択項目**]：標準、減１、減２ **番組情報取得設定** 待機時に地上デジタルの番組情報を自動的に取得するか選択します。 [**選択項目**]：取得する、取得しない **無操作自動電源オフ** テレビの無操作状態が約３時間続くと電源が切れます。 [**選択項目**]：待機にする、動作しない **オンエアー無信号オフ** 放送休止による無信号状態が約１５分続くと電源が切れます。 [**選択項目**]：待機にする、動作しない **外部入力無信号オフ** 外部入力選択時に無信号状態が約１５分続くと電源が切れます。 [**選択項目**]：待機にする、動作しない **クイックスタート（起動時間の短縮）** クイックスタートするかしないかを選択します。 [**選択項目**]：動作する、動作しない ※「動作する」にすると待機電力が増加します。
		視聴制限設定 **視聴年齢制限設定** 本機で視聴できる年齢を制限することができます。 暗証番号の設定を行っていないと選択できません。 [**設定方法**] ① [**メニュー**]ボタンを押し、[**設定**]⇨[**機能設定**]⇨[**視聴制限設定**]⇨[**視聴年齢制限設定**]の順に選択。 ② 数字ボタンで４ケタの暗証番号を入力。 ③ **＜ ＞** ボタンで年齢を選び「**決定**」ボタンを押す。 **暗証番号設定** 視聴年齢制限を設定する場合に暗証番号の設定が必要です。 [**設定方法**] ① [**メニュー**]ボタンを押し、[**設定**]⇨[**機能設定**]⇨[**視聴制限設定**]⇨[**暗証番号設定**]の順に選択。 ② 数字ボタンで４ケタの暗証番号を入力する。 ③ 再度４ケタの暗証番号を入力し、「**決定**」ボタンを押す。 **暗証番号削除** 暗証番号を削除します。 [**設定方法**] ① [**メニュー**]ボタンを押し、[**設定**]⇨[**機能設定**]⇨[**視聴制限設定**]⇨[**暗証番号削除**]の順に選択。 ② 数字ボタンで現在の４ケタの暗証番号を入力する。 ③ 画面表示を確認し「はい」を選び、「**決定**」ボタンを押す。
		外部入力設定 **HDMI2 音声入力設定** アナログ音声入力端子（3.5mm ミニプラグ）の音声を HDMI 入力２で使用するように設定できます。 [**設定項目**]：デジタル（HDMI 入力）、アナログ

各種の設定を行う（続き）

設定（続き）	**機能設定（続き）**	**外部入力設定（続き）** **外部入力スキップ設定** 入力切換をするときに、使っていない入力（ビデオオート、HDMI 1、HDMI2）をスキップします。 **［設定項目］**：する、しない
		ソフトウエアのダウンロード **放送からのダウンロード** 本機のソフトウエアを自動的にダウンロードして更新するかどうかの設定をします。 **［設定項目］**：ダウンロードする、ダウンロードしない **ソフトウエアバージョン** 現在のソフトウエアのバージョンを表示します。
	CEC設定	**HDMI連動設定** 17ページを参照してください。
	初期設定	**はじめての設定** 11ページを参照してください。 **アンテナ設定** **地上デジタルアンテナレベル** 地上デジタルアンテナの受信レベルを表示します。21ページを参照してください。 **BS・110度CSアンテナレベル** BS・110度CSアンテナの受信レベルを表示します。21ページを参照してください。 **BS・110度CSアンテナ電源供給** BS・110度CSアンテナの電源を供給する／しないを選択します。 **BS中継器切換** BSの中継器が故障した場合、他の中継器に切り換えて受信する設定です。 **110度CS中継器切換** CSの中継器が故障した場合、他の中継器に切り換えて受信する設定です。 **チャンネル設定** **地上アナログ自動設定**：地上アナログ放送のチャンネルを自動設定します。 **地上デジタル自動設定**：地上デジタル放送のチャンネルを自動設定します。 **手動設定** リモコンの数字ボタンに割り当てる放送局を変更できます。 **［設定方法］** ① 「∧ ∨」ボタンで手動設定したい放送を選び「**決定**」ボタンを押す。 ② チャンネルリストにおいて「∧ ∨」ボタンで放送局を割り当てたいチャンネル番号を選び「**決定**」ボタンを押す。 ③ 「< >」ボタンで割り当てたい放送局を選択し「**決定**」ボタンを押す。割り当てを削除したい場合は［設定を削除する］を選ぶ。 ④ 終了するときは「**終了**」ボタンを押す。 **地デジ難視対策衛星放送**：13ページを参照してください。 **チャンネルスキップ設定**：チャンネルを飛び越す設定ができます。 **ステレオ／モノラル**：アナログ放送のステレオとモノラルを切り換えます。 **無信号消音設定**： アナログ放送の電波を受信できないときに音声を消すことができます。 **初期設定に戻す**：チャンネル設定を工場出荷状態に戻します。 **データ放送設定**：データ放送の設定をします。 **郵便番号と地域の設定**： 郵便番号で地域を指定できます。 **文字スーパー表示設定**：番組に連動しないニュース速報などの情報の表示／非表示と言語を切り換えます。 **ルート証明書番号**：ルート証明書番号を表示します。 **通信設定** **通信接続設定**：12ページを参照してください。 **通信エラー履歴**：エラー履歴を表示します。 **B-CASカード番号表示**：B-CASカードの番号を表示します。 **簡易確認テスト**：受信状態を確認をします。22ページを参照してください。 **設定の初期化**：すべての設定を工場出荷状態に戻します。

アンテナの調整/受信レベルの確認　その他

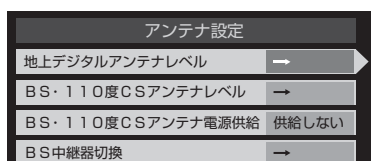
初めて地上デジタル用UHFアンテナやBS/CS放送用アンテナを取り付ける時や、地上アナログのUHF放送から切り換えるときはアンテナの方向を調整する必要があります。
集合住宅など、すでに設置・調整されている場合は必要ありません。
また、特定のチャンネルの受信状態を確認したい場合にも以下の手順でアンテナレベルを表示してください。

アンテナの設置や調整は専門知識が必要です。お買い上げの販売店などにご依頼・ご相談ください。

地上デジタルアンテナの方向調整

1 「電源」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押し、[地上デジタルアンテナレベル]を選ぶ

[メニュー]⇨[設定]⇨[初期設定]⇨[アンテナ設定]⇨[地上デジタルアンテナレベル]⇨「決定」ボタンの順に選びます。

3 「< >」ボタンでお住まいの地域で受信可能な伝送チャンネルを選ぶ

「< >」ボタンを押すごとに
VHF 1 ～ 12、
UHF 13 ～ 62、
CATV 13 ～ 63
の順に切り換わります。

※ 一般的なチャンネル番号とは異なりますのでご注意ください。

4 地上デジタル用UHFアンテナを左右にゆっくり廻し、「アンテナレベル」が最大になる位置でアンテナを固定する

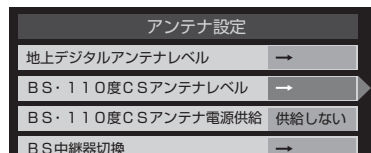
固定したときに「アンテナレベル」が下がらないことを確認してください。

5 「決定」ボタンを押して終了する

BS/CS アンテナの方向調整

1 「電源」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押し、[BS・110度CSアンテナレベル]を選ぶ

[メニュー]⇨[設定]⇨[初期設定]⇨[アンテナ設定]⇨[BS・110度CSアンテナレベル]⇨「決定」ボタンの順に選びます。

3 「BS」または「CS」ボタンで対象の放送を選び、チャンネルボタンで無料チャンネルまたは契約済みチャンネルを選ぶ

4 アンテナの取扱説明書を参考にアンテナの上下角度(仰角)を調節する

5 BS/CS用アンテナを左右にゆっくり廻し、「アンテナレベル」が最大になる位置でアンテナを固定する

固定したときに「アンテナレベル」が下がらないことを確認してください。

6 「決定」ボタンを押して終了する

故障かな？と思ったら

テレビが映らない

・テレビの電源がオンになっているかご確認ください。

・外部入力モードになっていないかご確認ください。

・アンテナケーブルが各端子にきちんと接続されているか、ケーブルが破損していないかご確認ください。

・チャンネルが正しく設定されていない可能性があります。再度チャンネル設定を行ってください。

・受信レベルが低すぎる可能性があります。前ページまたは下記の手順でアンテナレベルをご確認ください。受信レベルは50以上が推奨値です。

▶ 分配器をご利用の場合は、外して直接接続してみてください。

▶ 増幅器(ブースター)を利用すれば受信レベルを改善できる場合があります。

※ 特に地上デジタル放送では、放送局から遠く離れている場合や、室内アンテナをご利用の場合など、受信レベルが低いと正常に受信できない場合があります。

・受信レベルが高すぎる可能性があります。前ページまたは下記の手順でアンテナレベルをご確認ください。減衰器(アッテネーター)を利用すれば受信レベルを改善できます。

・UHF アンテナやBS/CS アンテナが正しく設置されているか、アンテナの向きが正しいかご確認ください。

・ケーブルテレビにご契約の場合、ケーブルテレビ局に「CATV パススルー方式」で再送信しているかどうかご確認ください。

・引っ越しをされた場合は再度チャンネル設定をやりなおしてください。

・B-CAS カードが正しく挿入されているかご確認ください。

電源が入らない

・電源プラグがコンセントに正しく接続されているかご確認ください。

・リモコンの電池が消耗していないかご確認ください。

映像が乱れたり途切れたりする

・受信レベルが低いときや不安定なときは、映像がモザイク状に乱れたり途切れたりすることがあります。前ページまたは下記の手順でアンテナレベルを表示してご確認ください。

・外部機器との接続が正しく行われているかご確認ください。

・元の映像データ自体に問題がないかご確認ください。

音声が出ない

・音量がゼロまたは小音量になっていないかご確認ください。

・消音状態になっていないかご確認ください。

・ヘッドホンが接続されていないかご確認ください。

リモコンが効かない

・リモコンの電池が消耗していないかご確認ください。

・リモコンの電池の向き(極性)が正しいかご確認ください。

・リモコンの信号が正しく受信されていない可能性があります。リモコンはテレビ正面方向から操作してください。

勝手に電源が入る/勝手に電源が切れる

・オンタイマーを設定している場合、設定時刻になると自動的に電源がオンになります。

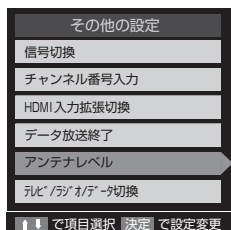
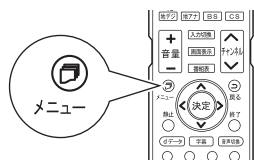
・オフタイマーや無操作自動電源オフなどを設定している場合、自動的に電源がオフになります。

視聴予約が機能しない

・視聴予約は電源をオフにすると取り消されます。オンタイマー機能をご活用ください。

アンテナレベルの確認方法

① 確認したいチャンネルに切り換える

② リモコンの「メニュー」ボタンを押し[その他の設定]⇨[アンテナレベル]の順に選ぶ

③ 受信レベルが表示されます。

④ 確認が終わったら、「終了」ボタンを押す

製品仕様

型名	BTV-1910
受信機型サイズ	19V型
画面サイズ(幅×高×対角)	41 × 23 × 47 cm
画面画素数(水平×垂直)	1366 × 768画素
放送方式	UHF : 13 ch ～ 62 ch (ISDB-T 地上デジタル放送) ※CATV パススルー対応 BS デジタル : BS000 ～ BS999 110度CS デジタル : CS000 ～ CS999
外形寸法(幅×高×奥行)	457 × 328 × 150 mm (スタンド含む)
本体質量	約3.2 kg (スタンド含む)
電源	入力 : AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	最大時 : 約34 W 通常視聴時 : 約24 W 待機時 : 約0.1 W
年間消費電力量	約36kWh/年
スピーカー出力	3 W × 2
入出力端子	HDMI入力× 2、 AV入力(コンポジット)× 1、 PC入力(VGA、ミニD-sub15ピン)× 1、 アナログ音声入力(3.5 mm ミニプラグ)× 1、 光デジタル音声出力(角形コネクタ)× 1、 ヘッドホン出力× 1、 アンテナ入力(F型、インピーダンス 75 Ω)× 2、 B-CAS カードスロット× 1、 LAN 端子(RJ-45 コネクタ)× 1、 サービス端子× 1

ソフトウエアのライセンス情報

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

本製品は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。
当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、BLUEDOT お客様サポートセンターへお問い合わせください。

また、本製品のソフトウェアコンポーネントには、開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本製品は、製品として、弊社所定の保証をいたします。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is" (現状)の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。
当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本製品に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は第三者による規定であるため、原文(英文)を記載します。

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel Busybox	Exhibit A
Glibc Gcc	Exhibit B
Malloc	Exhibit C
Yamon	Yamon
ijgjpeg zlib libpwg	BML ブラウザ

本製品で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

Exhibit A
GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License.
   (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program. In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
   a) Accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,
   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

   The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable.
   However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
   If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute he Program at all.
   For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
   It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
   This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD

本製品で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント 原文(英文)(続き)

PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail. If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouseclicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fi ts its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries.

In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License. In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

**GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING,
DISTRIBUTION AND MODIFICATION**

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

   A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

   The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

   "Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition fi les, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

   a) The modified work must itself be a software library.

   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library. In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

   Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

   This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange. If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.
   However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables..
   When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.
   If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)
   Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.
6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
   You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:
   a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
   b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
   c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specifi ed in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
   d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
   e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.
   For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
   It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.
7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it.
   However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library" , the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all.
    For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.
    If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
    It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
    This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this.
    Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>
This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.
<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon, President of Vice
That's all there is to it!

本製品で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文(英文)(続き)

Exhibit C
This is a version (aka dlmalloc) of malloc / free / realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints, per formance data, etc to dl@cs. oswego.edu
VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)
Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at
ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c
Check before installing!

YAMON;
SOFTWARE LICENSE AGREEMENT ("Agreement")
IMPORTANT- This Agreement legally binds you (either an individual or an entity), the end user ("Licensee"), and MIPS Technologies, Inc. ("MIPS") whose street address and fax information is 1225 Charleston Road,
Mountain View, California 94043, Fax Number (650) 567-5154.

1. DEFINITIONS
The following definitions apply to this Agreement:."Authorized Product" shall mean a product developed by MIPS or under a license that was granted by MIPS.
"Documentation" shall mean documents (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion), and any information, whether in written, magnetic media, electronic or other format, provided to Licensee describing the Software, its operation and matters relating to its use.
"GPL Materials" shall mean any source or object code provided by MIPS to Licensee under the terms of the GNU General Public License, Version 2, June 1991 or later ("GNU GPL").
"IP Rights" shall mean intellectual property rights including, but not limited to, patent, copyright, trade secret and mask work rights.
"Licensee Code Modifications" shall mean any modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS, made by or on behalf of Licensee.
"MIPS Code Modifications" shall mean modifications to YAMON Code and/ or other code provided to Licensee by MIPS or any third party licensed by MIPS, wherein such third party grants back to MIPS a license under such code modifications with the rights to sublicense and grant further sublicenses.
"MIPS Deliverables" shall mean the Software, Documentation and any
other information or materials provided by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement except for GPL Materials.
"Software" shall mean software containing YAMON Code, any other source and/or object code provided by MIPS at its sole discretion, and any Documentation contained in such software at MIPS' sole discretion.
"YAMON Code" shall mean source and/or object code for the YAMON monitor software, Ver. 1.01, or later (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion).

2. MIPS LICENSE GRANTS
(a) Subject to Licensee's compliance with the terms and conditions of this Agreement and payment of any fees owed to MIPS, MIPS grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license to:
(i) use the MIPS Deliverables at Licensee's facilities solely for Licensee's internal evaluation and development purposes (and to use, copy and reproduce and have reproduced Documentation solely to facilitate those uses of MIPS Deliverables that are allowed hereunder), and to sublicense Licensee's rights granted in this Subsection 2(a)(i) to Licensee's consultants for their use of the MIPS Deliverables at their facilities for their internal evaluation and development purposes;
(ii) make, use, import, copy, reproduce, have reproduced, modify, create derivative works from YAMON Code only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and to sublicense its rights granted in this Subsection 2(a)(ii), including the right to grant further sublicenses, provided that with respect to any sublicensee, (A) any IP Rights arising in any modification or derivative work created by such sublicensee shall be licensed back to MIPS together with the right by MIPS to sublicense such rights and grant fur ther sublicenses, and (B) the obligations of Subsection 2(c) below shall apply equally to any YAMON Code modified and/ or sublicensed by such sublicensee. These obligations shall be deemed to have been satisfied by Licensee's delivery of a copy of this Agreement to its sublicensee(s).
(b) MIPS further grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, nontransferable, royalty-free, fully-paid limited right and license under MIPS' IP Rights in any MIPS Code Modifications in existence now or at any time during the term of this Agreement (including those IP Rights assigned to MIPS or licensed to MIPS with sufficient sublicensing rights to satisfy the license grant in this Subsection 2(b)) to the limited extent that Licensee may make, use and import such MIPS Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Subsection 2(b), including the right to grant further sublicenses under the preconditions set forth in Subsection 2(a)(ii) above. Licensee acknowledges and agrees that MIPS (or any third party) is under no obligation to deliver MIPS Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by Licensee or any sublicensee thereof.
(c) Any YAMON Code modified and/or sublicensed pursuant to this Agreement must (i) contain all copyright and other notices contained in the original YAMON Code provided by MIPS to Licensee, (ii) cause modified files to carry prominent notices stating that Licensee (or any sublicensee) changed the files and the date of any change, and (iii) be sublicensed under terms that disclaim all warranties from MIPS and limit all liability of MIPS pursuant to Sections 8, 9, 11 and 12 herein.
(d) All other rights to the MIPS Deliverables not stated in this Section 2 are reserved to MIPS. Except as set out in this Section 2, Licensee shall not rent, lease, sell, sublicense, assign, loan, or otherwise transfer or convey the MIPS Deliverables to any third party. These license grants are effective as of the Effective Date. No license is granted for any other purpose.
(e) To the extent MIPS provides any GPL Materials to Licensee, use of such materials shall, notwithstanding any provision of this Agreement to the contrary, be governed by the GNU GPL.

3. LICENSEE CODE MODIFICATIONS
In partial consideration for the rights and licenses granted under Section 2 herein, Licensee agrees to grant and does hereby grant to MIPS a perpetual, irrevocable, non-exclusive worldwide, royalty-free, fully-paid limited right and license under Licensee's IP Rights in any Licensee Code Modifications (including those IP Rights assigned to Licensee or licensed to Licensee with sufficient sublicensing right to satisfy the license grant in this Section 3) to the extent that MIPS may make, use and import such
Licensee Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized
Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Section 3, including the right to grant further sublicenses. MIPS acknowledges and agrees that Licensee (or any third party) is under no obligation to deliver Licensee Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications w hen created independently by MIPS or any sublicensee thereof.

4. OWNERSHIP AND PREVENTION OF MISUSE OF MIPS DELIVERABLES
(a) This Agreement does not confer any rights of ownership in or to the MIPS Deliverables to Licensee; Licensee does not acquire any rights, express or implied, in the MIPS Deliverables other than those specified in Section 2 above. Licensee agrees that all title and IP Rights in the MIPS Deliverables remain in MIPS (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee agrees that it shall take all reasonable steps to prevent unauthorized copying of the MIPS Deliverables.
(b) MIPS owns all right, title and interest in the YAMON Code and other MIPS Deliverables (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee shall own all right, title and interest in the modifications and derivative works of the YAMON Code created by Licensee, subject to MIPS' rights in the underlying original YAMON Code as provided under this Agreement.
(c) Licensee agrees to provide reasonable feedback to MIPS including, but not limited to, usability of the MIPS Deliverables. All feedback made by Licensee shall be the property of MIPS and may be used by MIPS for any purpose.
(d) Licensee shall make all reasonable efforts to discontinue distribution, copying and use of any MIPS Deliverables that are replaced by a new, upgraded or updated version of any such MIPS Deliverables, including distribution to any sublicensee of such new, upgraded or updated versions.
(e) Licensee shall not make any statement of any kind or in any format, that any MIPS Deliverable is certified, or that its performance in connection with any product is warranted, indemnified or guaranteed in any way by MIPS or any party on MIPS' behalf. (f) Neither YAMON, MIPS nor any other trademark owned or licensed in by MIPS may be used by Licensee, any sublicensee thereof or any party on their behalf without prior written consent by MIPS, including at MIPS' sole discretion a trademark license agreement preapproved by MIPS.

5. ASSIGNMENT
Licensee may not assign or otherwise transfer any of its rights or obligations under this Agreement to any third party without MIPS' prior written consent, and any attempt to do so will be null and void. This prohibition against Licensee's assignment shall apply even in the event of merger, re-organization, or when a third party purchases all or substantially all of Licensee's assets. Subject to the foregoing, this Agreement will be binding upon and will inure to the benefit of the par ties and their respective permitted successors and assigns.

6. LIMITATIONS OF MIPS' SUPPORT-RELATED OBLIGATIONS
This Agreement does not entitle Licensee to hard-copy documentation or to support, training or maintenance of any kind from MIPS, including documentary, technical, or telephone assistance.

7. TERM AND TERMINATION
(a) This Agreement shall commence on the Effective Date. If Licensee fails to perform or violates any obligation under this Agreement, then upon thirty (30) days written notice to Licensee specifying such default (the "Default Notice"), MIPS may terminate this Agreement without liability, unless the breach specified in the Default Notice has been cured within the thirty (30) day period. This 30-day period may be extended upon mutual, written consent between the parties.
(b) Upon the termination of this Agreement due to Licensee's material breach hereof, Licensee shall (1) immediately discontinue use of the MIPS Deliverables, (2) promptly return all MIPS Deliverables to MIPS, (3) destroy all copies of MIPS Deliverables made by Licensee, and (4) destroy all copies of derivative works of MIPS Deliverables made by Licensee while in breach of this Agreement. All licenses granted hereunder shall terminate as of the effective date of termination.
(c) The rights and obligations under this Agreement which by their nature should survive termination, including but not limited to Sections 3 - 16, will remain in effect after expiration or termination hereof. Subject to Licensee's compliance with the surviving sections of this Agreement identified herein, any sublicenses rightfully granted and derivative works rightfully developed pursuant to Section 2 shall survive the termination of this Agreement.

8. DISCLAIMER OF WARRANTIES
THE MIPS DELIVERABLES ARE PROVIDED "AS IS". MIPS MAKES NO WARRANTIES WITH REGARD TO ANY OF THE MIPS DELIVERABLES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES, WHETHER EXPRESS, IMPLIED, STATUTORY OR OTHERWISE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF TITLE, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS.

9. LIMITATION OF LIABILITY AND REMEDY

(a) Licensee acknowledges the MIPS Deliverables are provided to Licensee only for the purpose set forth in Section 2. Licensee shall hold harmless and indemnify MIP S f rom any and all actual or threatened liabilities, claims or defenses based on the sublicensing, use, copying, installation, demonstration and/or modification of any of the MIPS Deliverables by Licensee, any sublicensee of Licensee or any party on their behalf. Licensee shall have sole responsibility for adequate protection and backup of any data and/or equipment used with the MIPS Deliverables, and Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims and defenses for lost data, re-run time, inaccurate output, work delays or lost profits resulting from use and/or modification of the MIPS Deliverables, or any portion thereof, under this Agreement. Licensee expressly acknowledges and agrees that any research or development performed with respect to the MIPS Deliverables is done entirely at Licensee's own risk.

(b) NEITHER PARTY SHALL BE LIABLE TO THE OTHER PARTY OR TO ANY THIRD PARTY FOR ANY DAMAGES INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, INDIRECT, EXEMPLARY OR INCIDENTAL DAMAGES, WHETHER SUCH DAMAGES ARISE UNDER A TORT, CONTRACT OR OTHER CLAIM, OR DAMAGES TO SYSTEMS, DATA OR SOF TWARE, EVEN IF SUCH PART Y HAS BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION ON LIABILITY SHALL SURVIVE EVEN IF THE LIMITED REMEDY PROVIDED HEREIN FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE. IN NO CASE WILL MIPS' LIABILITY FOR DAMAGES UNDER THIS AGREEMENT EXCEED THE AMOUNTS RECEIVED BY MIPS AS FEES UNDER THIS AGREEMENT.

10. WAIVER; MODIFICATION

Any waiver of any right or default hereunder will be effective only in the instance given and will not operate as or imply a waiver of any other or similar right or default on any subsequent occasion. No waiver or modification of this Agreement or of any provision hereof will be effective unless in writing and signed by the party against whom such waiver or modification is sought to be enforced.

11. HAZARDOUS APPLICATIONS

The MIPS Deliverables are not intended for use in any nuclear, aviation, mass transit, medical, or other inherently dangerous application. MIPS
EXPRESSLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR SUCH USE. LICENSEE REPRESENTS AND WARRANTS THAT IT WILL NOT USE THE MIPS DELIVERABLES FOR SUCH PURPOSES
.

12. SEVERABILITY

In the event any provision of this Agreement (or portion thereof) is determined to be invalid, illegal or otherwise unenforceable, then such provision will, to the extent permitted, not be voided but will instead be construed to give effect to its intent to the maximum extent permissible under applicable law and the remainder of this Agreement will remain in full force and effect according to its terms. IN THE EVENT THAT ANY REMEDY HEREUNDER IS DETERMINED TO HAVE FAILED OF ITS ESSENTIAL PURPOSE, ALL LIMITATIONS OF LIABILITY AND EXCLUSIONS OF DAMAGES SHALL REMAIN IN EFFECT.

13. RIGHTS IN DATA

Licensee acknowledges that all software and software related items licensed by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement are "Commercial Computer Software" or "Commercial Computer Software Documentation" as defined in FAR 12.212 for civilian agencies and DFARS 227.7202 for military agencies, and that in the event that Licensee is permitted under this Agreement to provide such items to the U.S. government, such items shall be provided under terms at least as restrictive as the terms of this Agreement.

14. MISCELLANEOUS

(a) The MIPS Deliverables and GPL Materials may be subject to U.S. export or import control laws and export or import regulations of other countries. Licensee agrees to comply strictly with all such laws and regulations and acknowledges that it has the responsibility to obtain such licenses to export, re-export, or import as may be required after delivery to Licensee. Licensee shall indemnify, defend and hold MIPS harmless from any damages, fees, costs, fines, expenses, charges and any actual or threatened civil and/or criminal claims or defenses arising from any failure of Licensee and/or its customers to comply with any obligations arising under this Section 14(a).

(b) Any notice required or permitted by this Agreement must be in writing and must be sent by email, by facsimile, by recognized commercial overnight courier, or mailed by United States registered mail, effective only upon receipt, to the legal departments of MIPS or Licensee (if Licensee has no legal department, then to an officer of Licensee, a contact person specified by Licensee or Licensee's place of business).

(c) The headings contained herein are for the convenience of reference only and are not intended to define, limit, expand or describe the scope or intent of any clause or provision of this Agreement.

(d) The parties hereto are independent contractors, and nothing herein shall be construed to create an agency, joint venture, partnership or other form of business association between the parties hereto.

(e) Licensee acknowledges that, in providing Licensee with the MIPS Deliverables, MIPS has relied upon Licensee's agreement to be bound by the terms of this Agreement. Licensee further acknowledges that it has read, understood, and agreed to be bound by the terms of this Agreement, and hereby reaffirms its acceptance of those terms.

15. GOVERNING LAW AND JURISDICTION

This Agreement shall be governed by the laws of the State of California, excluding California's choice of law rules. With the exception of MIPS' rights to enforce its intellectual property rights in the MIPS Deliverables, all disputes arising out of this Agreement shall be subject to the exclusive jurisdiction and venue of the state and federal courts located in Santa Clara County, California, and the parties consent to the personal and exclusive jurisdiction and venue of these courts. The parties expressly
disclaim the application of the United Nations Convention on the International Sale of Goods to this Agreement.

16. ENTIRE AGREEMENT

This Agreement and the GNU GPL constitute the entire agreement between MIPS and Licensee regarding the MIPS Deliverables and GPL Materials provided to Licensee hereunder, and shall supersede and control over any other prior or contemporaneous shrinkwrap and/or clickwrap agreements regarding the same. Any additions or modifications must be made in a subsequent, written agreement signed by both parties.

オープンソース・ソフトウエア

【オープンソース・ソフトウェアの使用条件が記載されたURL】

(a)ijgjpeg	http://www.ijg.org/
(b)zlib	http://www.zlib.net/zlib_license.html
(c)libpng	http://www.libpng.org/pub/png/src/libpng-LICENSE.txt

【本契約締結時点のでオープンソース・ソフトウェアの使用条件】
<Image Decoder Modules>

(a) ijgjpeg
(b) zlib
(c) libpng

(a) ijgjpeg

ijgjpeg License Terms
The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huf fman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.)
So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files.
To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that
"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

本製品で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文(英文)(続き)

(b) zlib

zlib License Terms

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.3, July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty.
In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org
Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

*/

(c)libpng

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modif y libpng you may insert additional notices immediatelyfollowing this sentence.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.18, May 15, 2007, are Copyright (c) 2004, 2006-2007 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.
libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, Januar y 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

printf("%s",png_get_copyright(NULL));

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
May 15, 2007

ライセンスおよび商標などについて

- 本製品は、株式会社ACCESS の NetFrontBrowser を搭載しています。
ACCESS、NetFront は、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

- HDMI、MDMI ロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。

- 本製品の一部分にIndependent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

困ったときは・・・

■ 22ページの「故障かな?と思ったら」をご確認ください。
■ 弊社ホームページの『FAQ（よくあるご質問と答え）』をご確認ください。
http://www.bluedot.co.jp/support/
■ お客様サポートセンターにご連絡ください。

BLUEDOTお客様サポートセンター
TEL:0570-010080（ナビダイヤル）
※ナビダイヤルをご利用になれない場合は043-295-8882まで
※ご利用時間は10:00～17:00（土、日、祝日、会社指定休日を除く）
FAX:043-295-8852
E-mail:support@bluedot.co.jp

BLUEDOT® 株式会社
〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2-3-1
E-mail：info@bluedot.co.jp
ホームページ：http://www.bluedot.co.jp/

1201A